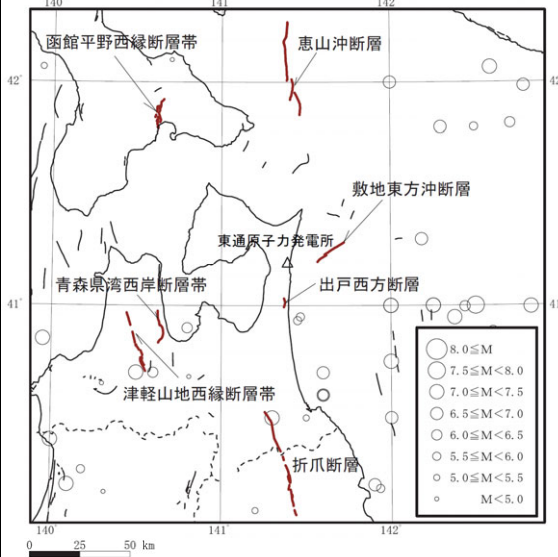


補正前

【敷地周辺における活断層分布】



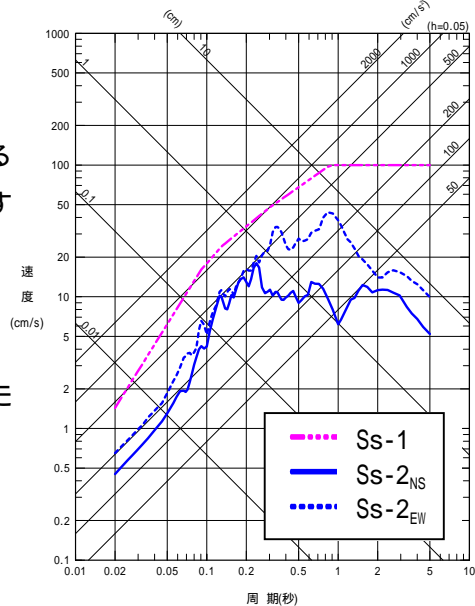
横浜断層の記載なし
(耐震設計上考慮せず)

敷地への影響を比較し、
「敷地東方沖断層による地震」を
検討用地震として選定

【基準地震動 Ss】

Ss-1: 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」及び「震源を特定せず策定する地震動」を包絡して策定
(水平: 450gal, 鉛直: 300gal)

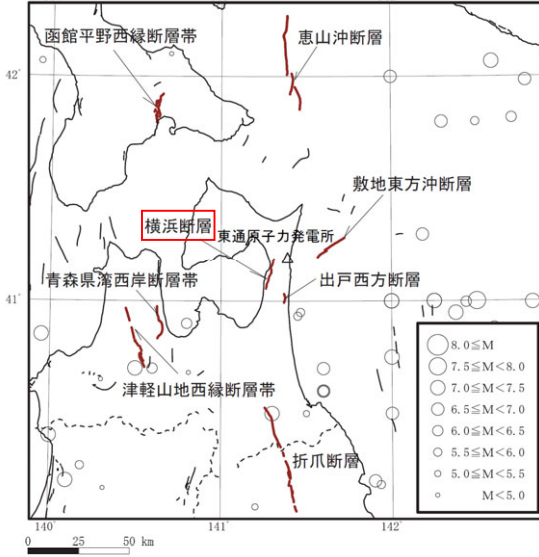
Ss-2: 「敷地東方沖断層による地震」の断層モデルを用いた手法による地震動評価結果をもとに策定
(NS: 142gal, EW: 204gal, UD: 155gal)



基準地震動 Ss の設計用応答スペクトル (水平方向)

補正後

【敷地周辺における活断層分布】



横浜断層について、耐震設計上
考慮すべき断層に変更し記載

敷地への影響を比較し、
「横浜断層による地震」を検討用
地震として選定

【基準地震動 Ss】

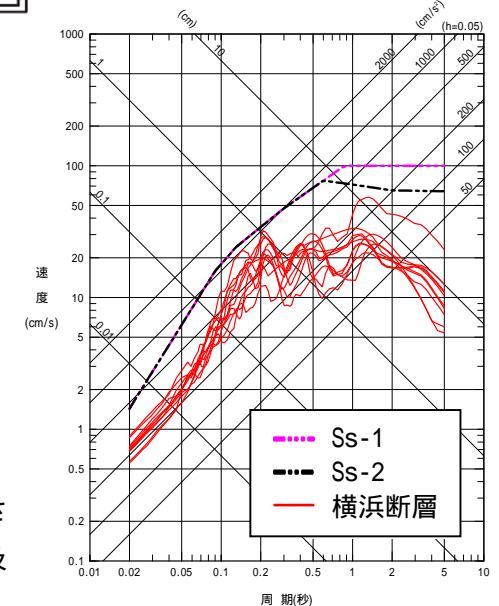
Ss-1: 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」を包絡して策定
スペクトル形状は変更無し

(水平: 450gal, 鉛直: 300gal)

Ss-2: 「震源を特定せず策定する地震動」をもとに策定

(水平: 450gal, 鉛直: 275gal)

「横浜断層による地震」について不確かさを考慮した地震動評価においても Ss-1 及び Ss-2 に包絡される。



基準地震動 Ss の設計用応答スペクトル (水平方向)